



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJPR08/05- No.110

プレスリリース

食料価格は生産増にもかかわらず、依然として高水準 いくつかの貧しい国では飢餓増加の可能性

2008年5月22日、ローマ — 22日発行の国連食糧農業機関（FAO）報告書によれば、食料価格の上昇は収入の大部分を食料にあてている多くの国の不安定な状況にある人々に打撃を与えている。

最新の「食料需給見通し（FAO Outlook）」は、低所得食料不足国（L I F D C s）の食料輸入総額が2008年には2007年より40%増の1690億ドルに達すると報告している。FAOは食料輸入額の継続的な増加は食料不安の状況にある国々にとって「心配な展開」であるとし、2008年末には年間食料輸入額が2000年の4倍になると予測している。

ほとんどの農作物の国際価格は降下を始めたが、以前のような低い金額にまで戻る可能性は低だろうと「食料需給見通し」は報告している。FAOの価格指数は2008年2月から安定しているが、2008年1月～4月の平均価格は今年の同時期に比べ依然53%高いものとなっている。

飢餓悪化の可能性

「食料は、もはやかつてのように安価な商品ではない。食料価格の上昇は、すでに8億5400万人の人々が苦しめられている許容できないレベルの食料不足状況を悪化させるであろう」とFAOハフエズ・ガネム経済社会局長は述べた。「我々は飢餓人口が何百万という単位で増加する危険に直面している」

世界の生産見通しの好転にもかかわらず、多くの基本農産物に関して予測される2008－2009年期における価格の低下は限定されるものと見られる。なぜなら在庫を補充する必要があるとともに需要が増加するからである。需要の増加に伴い、単期の豊作のみでは在庫の補充と価格の不安定性を抑えるのには不十分である。

記録的な生産高が見込まれる2008年世界穀物生産

FAOの最新の2008年世界穀物生産予測は、2007年に比べ3.8%の上昇となる21億9200万トン近くという記録的な生産高（精米を含む）を示している。主要穀物の中では、2008年の収穫増の見込みにより、逼迫した小麦の供給が最も改善する見通しである。いくつかの作物での記録的な生産高にもかかわらず、逼迫した市況はおそらく今期中の価格の不安定性の継続につながるであろう。

各国の首脳は、ローマで開催される6月サミット（2008年6月3－5日）において、食料価格高騰の問題、気候変動、バイオ燃料と食料安全保障の課題に対応する。

その他の製品のハイライト

油料種子

油料種子と油料種子製品の国際価格の上昇は、2008年3月に最高値まで上昇したことに伴い2007－2008年に加速した。世界の市況は油料種子の供給の伸びが鈍化し、油粕供給の低下と需要の更なる拡大とが同時期に起こり、かなり逼迫した。2008－09期の最初の見通しでは世界的に強含みの油料種子生産回復とその結果の油と油粕の生産が世界の需要を満たせると考えている。

砂糖

2007－08年には全般的に良好な生育条件が整い、記録的な砂糖生産高となった。そして世界の砂糖消費が継続的な率で増加すると見込まれるにもかかわらず予測されている二期連続の供給余剰を吸収するには至らない。国際砂糖価格は引き続き下降圧力下にとどまると考えられる。

食肉・肉製品

世界の食肉の生産は、飼料価格の上昇にもかかわらず2008年も増加すると見られる。力強い経済成長が予測され、多くの開発途上国においてひきつづき堅調な消費が予想される。

乳製品

国際的な乳製品生産は、現在昨年 of 乳製品の高価格に対応しており、2008年には堅調に増加すると予測される。しかし、乳製品市場の先行きは不透明である。乳製品の国際取引は、主に輸出可能な供給量減のため2008年には再度減少すると予想されている。輸入需要はいくつかの輸入国におけるミルク生産量の堅調な増加による乳製品の価格上昇のため低迷したように見受けられる。

水産物

「食料需給見通し」では、養殖生産の増加が今年も続き、2008年には養殖生産が漁獲量と同水準に達するという歴史的な節目を迎えると予測する。漁獲物の価格は強含みで上昇しているが養殖物の価格上昇はより穏やかと見込まれる。

ジャガイモ

世界的なジャガイモ生産量は今後10年は年間2－3%の増加が可能である。開発途上国、特にサハラ以南アフリカに位置する国では、成長の中心的な原動力となりうる。世界最大のジャガイモ生産国である中国では、政府がジャガイモを国の主要食料製品とする提案を検討している。一方インドでは、ジャガイモ生産量を5－10年の間に倍増する計画を検討している。